

科目名	スポーツトレーナー実践Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年(集中講義)	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	本授業では、トレーナーとして現場で必要となる基本的な技術を身につける。けがの状態を正しく判断する力や、身体の動きやバランスを確認する評価方法、レントゲン画像の見方、テーピングの技術などを、実践を通して学ぶ。 また、技術を身につけるだけでなく、自ら考え、状況に応じて適切な判断ができる力を養うことを目標とする。最終的には、アスレチックリハビリテーションに必要な評価や運動プログラムの提案(処方)ができる力を身につける。					
学習の到達目標	スポーツ傷害・外傷の評価を根拠に基づいて実施し、その結果に応じたアスレティックリハビリテーションおよびトレーニングプログラムを計画・処方できる能力を身につける。					
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、提出物、出席率を考慮し総合的に評価する。					
使用テキスト	日本体育協会公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	肉離れの病態理解とテーピング方法(非伸縮性と伸縮性)					
2	テニス肘、肘関節靱帯損傷の病態理解とテーピング方法					
3	指関節靱帯、手関節靱帯損傷の病態理解とテーピング方法					
4	扁平足、外反母趾の病態理解とテーピング方法					
5	ランニング障害における歩行移動の基本理解と歩行誘導テーピング方法					
6	姿勢評価と不良姿勢を改善させるストレッチ方法					
7	超音波診断装置の描写方法と超音波所見の理解①					
8	超音波診断装置の描写方法と超音波所見の理解②					
9	超音波診断装置の描写方法と超音波所見の理解③					
10	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価①					
11	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価②					
12	レントゲン、外見写真を用いた身体アライメント評価③					
13	トレーニング施設実習(重心計測の実践)					
14	トレーニング施設実習(ビック3トレーニング、アジリティ、プライオメトリックトレーニングの実践)					
15	総合評価(まとめ)					

(2026年度)